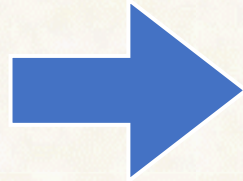


お知らせ

医療費の口座引落 金融機関が追加されます！

【これまで】

- ・ J A 鳥取西部
- ・ 鳥取銀行



【11月から】

- ・ J A 鳥取西部
- ・ 鳥取銀行
- ・ **山陰合同銀行** **New**
- ・ **郵便局 (ゆうちょ銀行)** **New**

※ 4つの金融機関での口座引落が可能となりました。

お手続きについては、
医事課職員へ
ご相談ください。



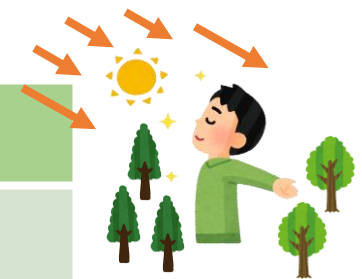
11月8日はレントゲンの日

ドイツの物理学者ヴィルヘルム・レントゲン博士がエックス線を発見したのが1895年11月8日であり、今年で117年を迎えます。そんな日に因んで、「被ばく」に関する話をしたいと思います。



皆さまご存知でしょうか？

「被ばく」とは人体が放射線にさらされることです。私たちは日常生活の中で自然界からの放射線（自然放射線）を絶えず受けながら生活しています。原因は様々で、宇宙や大地からの放射線を受けたり、呼吸や食事によって放射性物質が体内に入ることでも放射線を受けています。



	およその放射線量 (ミリシーベルト)
一人当たりが受ける 自然放射線量 (年間)	2.1
胸部レントゲン検査	0.06
胃部集団検診 (バリウム)	2.0
CT検査	5.0 ~ 25.0



病院職員の目印に！！

ポロシャツできました！

今年の夏から事務員、運転手などがこのポロシャツを着用することがあります。お気軽にお声かけください。



キュートな
わしもおるよ！



病院に対するご意見ご要望、または広報誌に対するご意見など、お待ちしております。



⇒入力フォーム



日南病院LINE
公式アカウント



休診の連絡や予防接種などいち早く情報発信します。

一年間で受ける自然放射線と病院の放射線検査を比較してみると（上図）CT検査の数値が高く不安になる方もおられると思いますが、身体に影響が出ると言われている量よりもはるかに少ない量になりますので安心して検査をお受けください。

もし不安なことや気になることがありましたら、お気軽に医師や診療放射線技師にご相談ください。これからも町民の皆さまに安心して検査を受けていただけるよう努めてまいります。

日南町の将来を皆さまと一緒に考える 住民シンポジウム



日南病院
60周年記念

【日付】11月5日（土）【場所】日南町文化センターさつきホール

時刻	内容
12:45	受付
13:15	開会 主催者あいさつ 日南病院 病院長 佐藤 徹 日南病院 開設者 日南町長 中村 英明
13:30	特別講演 「自治体病院の役割と現状について」(仮) 講師：城西大学経営学部教授 伊関 友伸
14:30	休憩
14:35	基調講演 「日南町の地域づくりをする医療」 講師：日南病院 名誉院長 高見 徹 「かかりつけ医機能と総合診療医について」 講師：鳥取大学医学部附属病院 地域医療学講座 総合診療専門研修専攻医 日南病院 内科医 谷口 尚平
15:05	休憩
15:15	パネルディスカッション <テーマ>「日南町の地域医療及び 地域包括ケアシステムの現状と未来への展望」 <座長> 鳥取大学医学部附属病院 地域医療学講座 総合診療専門研修専攻医 日南病院 内科医 谷口 尚平 <助言者> 城西大学経営学部教授 伊関 友伸 <助言者> 日南病院名誉院長 高見 徹 <パネリスト> 日南町企画課長 島山 圭介 日南町地域包括支援センター長 岩井 里美 日南町社会福祉協議会生活支援コーディネーター 毛利 好孝 日南福祉会ケアプランセンターあかねの郷課長 矢田貝 裕一郎 多里まちづくり推進協議会支え愛部会部長 榎尾 光子 日南病院リハビリテーション科長 田辺 大起
16:30	閉会

皆さまのご参加を
お待ちしております



(※申し込み不要で、参加は自由です)

いせき ともとし
伊関 友伸 城西大学経営学部教授



2006年8月から2007年3月まで、北海道夕張市の医療再生アドバイザーとして、夕張医療センター設立に携わった。研究分野は行政学・地方自治論、地域医療・自治体病院の経営。

2021年、総務省の「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化に関する検討会」の構成員（国の会議の委員は構成員と呼ばれます）に就任。

人口減少・地域消滅時代の自治体病院改革！
～自治体病院は不要なのか！～

たかみ とおる
高見 徹 名誉院長



地域医療とは、過疎の町で医療をすることではありません。自立した生活ができなくなっても安心して暮らせる地域にすることこそが大事。すなわち地域医療とは、『地域づくりをする医療』なのです。

日南町でその人らしく老いるためにどうしたらいいのか！約50年近い医師としての経験から得られた知見を話します。

たにぐち しょうへい
谷口 尚平

鳥取大学医学部附属病院 地域医療学講座 総合診療専門研修専攻医
日南病院 内科医

在宅診療や地域の生活に寄り添った医療に興味を持ち、総合診療医を志し、専攻医として研修をしています。病気を治すだけの医療ではなく、治し支える医療とは何か。日南町の総合戦略の1つでもある総合診療について話します。



パネルディスカッション

地域包括ケアシステムとは、住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで続けることができるように、地域内で助け合う体制のことです。地域包括ケアシステムは、それぞれの地域の実情に合った医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される体制を目指しています。

日南町の地域包括ケアシステムとはどのようなもので、どんな課題があるのか、人口減少時代において、どんな未来があるのか、一緒に考えるシンポジウムです。会場からの意見もお待ちしています。皆さまぜひご来場ください。